

ツアー番号
LK2J4BB2FK

スリランカの色彩（20日間）

20日間・19泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この20日間のツアーはスリランカの最も訪問数の多い地域全体を巡るもので、西海岸から文化三角地帯、中央高地を経て南海岸に至ります。ゆったりとしたペースで進み、ダンブッラとシギリヤ周辺の洞窟寺院と岩の砦から、ヌワラエリヤとエッラ周辺の紅茶の国を経て、ビーチとガレの砦町へと下っていきます。2泊から3泊の滞在が複数回あり、絶え間ない荷造りと荷解きをせずに各地域を探索する時間が取れます。

旅行者は島が提供するものの幅広い横断面を体験します。古代仏教遺跡とユネスコ登録遺跡、セイロン紅茶の栽培と加工方法についての知見が得られる紅茶農園の訪問、丘陵地帯の絶景地と滝へのハイキング、象とヒョウを探すサファリ、そして南海岸のビーチでリラックスするための時間をたっぷり取ることができます。中間地点での休息日と終盤のフリーデーもあり、水泳、ダイビング、またはシンプルにくつろぐ時間を過ごすことができます。

このツアーはプライベートジャーニーとして企画されており、終始運転するシャフォーガイドが日々のロジスティクスを処理するため、旅行者はスケジュールではなく景色に集中する自由が得られます。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ(1〜2日目)

西海岸のネゴンボで2日間ゆっくりと滞在します。美しいビーチと古くから続く漁業で知られる町です。



ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜でのんびり過ごしましょう。沖合にあるサンゴ礁や50年前の沈没船の周りでダイビングを楽しむなど、マリンスポーツも選択できます。

AI生成画像・実際の写真ではありません

ネゴンボの漁業

何世紀にもわたって続く町の伝統的な漁の様子を、海岸沿いで見学します。

3日目 ネゴンボ → ダンブッラ

内陸部のダンブッラへ移動し、島内最古の宗教遺跡のひとつである石窟寺院群を訪れます。



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀にまで遡るダンブッラの黄金寺院の洞窟に入り、仏陀の生涯を描いた古代の壁画と、神聖なる王の洞窟、偉大なる王の洞窟、大新僧院を含む5つの主要な洞窟に点在する数百体の仏像を見学します。

Lankapic · CC BY 2.5

黄金の仏像

石窟群から少し離れた場所にある巨大な黄金の仏像を見学します。

4日目 ダンブッラ → シギリヤ → ダンブッラ

シギリヤ・ロック要塞への登頂と、近隣の農村生活体験を組み合わせた一日です。



シギリヤ・ロック要塞

カーシャパ王のために築かれた5世紀の岩の要塞を登ります。その名の由来となったライオンの足の間を通って入場し、色褪せないことで有名な壁画、急な階段、段々畑の庭園、今も機能する貯水池、宮殿へと続く地下道などを見学します。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村の生活体験

牛車に乗り、静かな湖でカタマラン・サファリを体験し、水田の間を歩きます。その後、伝統的な料理のデモンストレーションを見学し、蓮の葉に盛られた家庭料理の昼食をいただきます。

5日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

スリランカ第2の古都の遺跡群と、象を探すサファリを楽しむ一日です。



ポロンナルワ古代都市

10世紀から13世紀にかけてスリランカ第2の主要都市として栄えたポロンナルワの遺跡を歩き、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、パラークラマバーフ王の像などの遺構を見学します。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園サファリ

ミンネリヤ国立公園でサファリを体験します。5月から10月の乾季には多くの象が集まることで知られ、その他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

6日目 ダンブッラ

ダンブッラでの自由日です。

7日目 ダンブッラ → マータレ → キャンディ

マータレを経由してキャンディへ移動し、スパイスガーデンに立ち寄った後、市内で最も神聖な仏教寺院を訪れます。

ユーフォリア・スパイス&ハーバルガーデン

スリランカのスパイスの都マータレ近郊にあるスパイス&ハーバルガーデンを訪れ、ガイド付きツアーで地元のスパイスやハーブ、アーユルヴェーダの活用法について学びます。



仏歯寺

16世紀に仏陀の聖なる歯を納め、守護するために建てられた世界遺産、仏歯寺を訪れます。彩色されたホール、彫刻の施された柱、黄金の仏像などを見学します。

A.Savin · FAL

8日目 キャンディ → ペラデニヤ → キャンディ

キャンディ郊外の王立植物園への日帰り旅行です。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立された王立植物園を歩きます。ラン、スパイス、薬用植物など4,000種以上の植物に加え、キャノンボールツリーやぐらぐらと揺れる吊り橋もあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

9日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

丘陵地帯を登り、ヌワラエリヤへ向かう途中で滝と茶園に立ち寄ります。



ランボダの滝

国内で11番目の高さを誇るランボダの滝を訪れます。

A.Savin · FAL

マックウッズ茶園

マックウッズ茶園でガイド付きツアーに参加し、19世紀に島に伝わった伝統であるセイロン茶の種類、加工方法、品質について学びます。



ハッカラ植物園

木々の生い茂る並木道と色とりどりの庭園が広がるハッカラ植物園を歩きます。

Own work of Buddhika Mawella · CC BY-SA 3.0



グレゴリー湖

グレゴリー湖の湖畔をゆったりと散策します。

Rehman Abubakr · CC BY-SA 4.0



ヌワラエリヤの町

イギリス人によってイングランドの田園風の集落として築かれたヌワラエリヤの町を散策します。当時の建築、手入れの行き届いた芝生、英国国教会の教会、有名なゴルフコースなどがあり、茶の産地の中心に位置する涼しい高地の町です。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

10日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → ヌワラエリヤ

ホートンプレインズ国立公園の高原草地と雲霧林への日帰り旅行です。



ホートンプレインズ国立公園

オヒヤにあるホートンプレインズ国立公園を探索します。草地と雲霧林が広がり、ワールズエンドからの眺めやベイカーズ滝の涼しい水しぶきを楽しみながら、固有種の野生動物や考古学的に興味深い場所も見ることができます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

11日目 ヌワラエリヤ → エラ

茶畑地帯を通ってエラへ移動し、道中よく知られた展望スポットや名所を見学します。



リトル・アダムスピーク

鮮やかな緑の茶畑や岩肌の続く道を通り、リトル・アダムスピークの景色を眺めます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナインアーチ・ブリッジ

ナインアーチ・ブリッジを歩いて渡り、その建設の物語を聞きます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

独特なループ状の線路設計で知られるデモダラ駅で終了します。

A.Savin · FAL

12日目 エラ

エラ・ロックへのハイキングで、この地域で最も美しい景色のひとつを堪能します。

エラ・ロック

約3時間のハイキングでエラ・ロックへ登ります。この地域で最も高い展望地点の一つで、道中はナムヌクラ山脈やリトル・アダムスピークの景色を、山頂からはバンダラワラ山脈、プーナガラ丘陵、ナランガラ、エラ・ギャップ、バドゥッラへの鉄道線路を眺めることができます。

13日目 エラ → ヤラ

丘陵地帯から南東海岸のヤラへ移動します。

14日目 ヤラ

スリランカで最も豊かな野生生物保護区のひとつ、ヤラ国立公園でのサファリです。



ヤラ国立公園サファリ

国内第2位の広さを誇るヤラ国立公園で、約3時間のサファリに参加します。スリランカヒョウ、野生のスイギュウ、スリランカのナマケグマ、大きな象の群れなど、多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物に出会えるチャンスがあります。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

15日目 ヤラ → ウスガンゴダ → ルマッサラ → ガッレ

地元の伝説にまつわる2つの海岸の名所を経由してガッレへ移動し、その後、歴史ある要塞都市を探索します。



ウスガンゴダ

木々のほとんどない海岸の台地で、毒性のある蛇紋岩が特徴のウスガンゴダを訪れます。ラーマーヤナの伝説では、ハヌマーン神の燃える尾やラーヴァナ王の伝説の飛行戦車に関連するとされています。

A.Savin · FAL



ルマッサラ

ウヌワトゥナ・ビーチ近くの丘、白い仏塔が立つルマッサラを訪れます。伝説では、ハヌマーンが運んだドローナギリ山の一部であり、シータがランカーに滞在していた際の住まいであったとされています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ガッレ・フォート

アジアで最も保存状態の良い要塞のひとつ、ガッレ・フォートを探索します。かつてポルトガルとオランダの拠点であった場所で、博物館、灯台、オランダ語の名前が残る石畳の道などがあります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

16日目 ガッレ(16〜19日目)

ガッレ周辺の南海岸で4日間の自由日です。



ガッレのビーチ

スリランカ最高のビーチのひとつでのんびりと過ごします。ウミガメの産卵観察、ビーチフロントのホテルでのリラックス、ジェットスキーやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツも選択できます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

20日目 ガッレ → コロンボ → バンダラナイケ国際空港(BIA)

ガッレからコロンボの空港へ移動し、帰国便に搭乗します。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.